

神戸シュタイナー教育を学ぶ会/レインボーサークル 共催

関西シュタイナー乳幼児教育教員養成コース一般公開講座
保育士、幼稚園教員等教育関係者、医療従事者向け

～バーナーデッド・ライチェル氏～

保育園の環境で過ごす幼い子ども達

今や、子どもが乳児期から家庭を離れて保育環境で過ごすことは普通のことだと考えられる時代になりました。

この講座では、ヴァルドルフ/シュタイナー教育の観点で、子どもの保育について次のような内容を論点にしてお話をしていきます。

「乳幼児期の子どもが求めていることとは」

「乳幼児の健康に役立つ環境を創り出すには」

「保育環境の中で乳幼児期の保育士の役割とは」

日 時：2015年1月17日（土）10:00～11:45

場 所：たかつガーデン <http://www.takatsu.or.jp/>

（近鉄上本町駅下車3分、市営地下鉄谷町九丁目駅下車5分）

定 員：70名（うち、受講生22名を含みます。）

参加費：¥2,500

申込先：矢野尚子 hisako147@gmail.com

FAX：072-758-5876（9時～21時）

申込締切：2015年1月14日（水）

※申し訳ありませんが託児はございません。

講師：バーナーデッド・ライチェル氏

ニュージーランド・ハブブロックノースで、17年前に現在活動の中心にしているアフィナ昼間乳幼児保育幼稚園を設立、0歳からのシュタイナー保育を実践。それ以前は12年間シュタイナー幼稚園の教師をつとめる。アフィナでのモットーは、子どもの身体・魂・精神の家を創ること。複数のケア・スタッフによる協働という新しい境地を開き、親子とスタッフのよりよきパートナーシップを模索している氏の実践は、切迫した現代の親子、又は家庭の環境作りに新しい道を示唆するものである。世界各地での講演や養成コースでの講演を実施、世界中から研修生を受け入れている。

著書『乳幼児のためのシュタイナー保育—からだ 心 精神のためのおうちづくり—』（入間カイ/訳 水声社）乳幼児教育者。

通訳：河岡ちこ

NZ政府認定シュタイナー教育者。国内外のシュタイナー学校で特に深い理解を必要とする子どもたちのためのシュタイナー治癒教育に携わる。教育・福祉・医療関連での通訳、ラフター（笑う）英会話講師。現在、カール・ケーニツ博士の遺志を受け継ぐ事として、ヒーリングホース（癒す馬）の研究と実践を続ける。

ドロシー・マーレン氏来日

「人間の基礎となる初期からの発達について」

日時：2015年6月20日（土）10:00~12:00

～ ドロシー・マーレン氏プロフィール ～

乳幼児教育コンサルタント・トレーナー
シュタイナー幼児教育者・カウンセラー

20年ほど、地元イギリス・ヨークのサポートグループで、乳幼児の保護者や保育者と共に働く。イギリスや他の国でワークショップやトレーニングコースを運営。「親子グループハンドブック」をハートンプレスから出版し、ジャーナルや雑誌に投稿を続ける。

現在、シュタイナー・ヴァルドルフ教育での保育セッティングと共にメインストリートの乳幼児ルームのコンサルタントも実施。

ピクラーアプローチで親子支援グループを運営、イギリスヨークでピクラーレベル1、2トレーニングコースを乳幼児保育士に対して実施。

イギリスのシュタイナー・ヴァルドルフ乳幼児運営グループ・誕生から3歳までの国内代表、シュタイナー教育による誕生から3歳までの子どものワーキンググループの代表。ピクラーUK協会の創設者であり代表。

<たかつガーデン地図>

